

令和4年度第1回滝沢市社会教育委員会会議録

- 1 件 名 令和4年度第1回滝沢市社会教育委員会議
 2 日 時 令和4年7月22日（金）午後1時30分から午後3時まで
 3 場 所 滝沢市役所2階201・202会議室
 4 出席委員

委員14人のうち9人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

No	氏名	役職	所属など	出欠
1	嶋野 重行	議長	盛岡大学短期大学部教授	○
2	村上 四郎	副議長	滝沢市陸上競技協会理事	○
3	菅野 道生	委員	岩手県立大学社会福祉学部准教授	—
4	渡邊 博善	委員	国立岩手山青少年交流の家所長	○
5	市村 康之	委員	滝沢小中学校長会（篠木小学校長）	○
6	太田 豊	委員	滝沢市自治会連合会副会長（姥屋敷自治会長）	○
7	土井尻たき古	委員	滝沢市地域婦人協議会副会長	—
8	高橋 雅寛	委員	滝沢市子ども会育成連合会長	○
9	深澤 千春	委員	滝沢市PTA連絡協議会長（一本木中PTA会長）	—
10	佐々木 昭司	委員	滝沢市芸術文化協会副会長	—
11	切金 一夫	委員	滝沢市少年補導員連絡会長	○
12	佐藤 亮太	委員	滝沢市商工会青年部筆頭副部長	—
13	大畑佳代子	委員	滝沢市国際交流協会事務局長	○
14	小島 勝子	委員	滝沢市レクリエーション協会会長	○

5 出席職員

No	氏名	所属・役職など	担当分野
1	熊谷 雅英	教育長	—
2	久保 雪子	教育次長	—
3	朝岡 将人	生涯学習スポーツ課長	—
4	岡田 久美	文化振興課長（図書館長・埋蔵文化財センター所長）	—
5	細川 健一	生涯学習スポーツ課 総括主査兼社会教育主事	社会教育
6	横澤美保子	文化振興課 総括主査兼社会教育主事	図書館
7	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 総括主査	文化財
8	川又 健二	生涯学習スポーツ課 主任主査	スポーツ
9	大井創太郎	文化振興課 主事	文化芸術

6 会議内容

- (1) 委嘱状交付
- (2) 開会
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 議事録署名人の任命
市村委員と高橋委員が任命された。
- (5) 報告
・令和3年度社会教育事業実績について
- (6) 協議
・令和4年度滝沢市社会教育方針と計画について
- (7) 閉会

7 質疑応答など

委員　　ここ数年滝沢市は県内各地域においてスポーツの面ですごく躍進していると感じております。小学生のボクシングや中学生の陸上競技、そして滝沢中学校出身の方がプロ野球に進まれるなど、スポーツが盛んな岩手県でも滝沢市が活躍していると思っております。お聞きしたいのですが、各学校においてアスリートを教える手腕のある先生を置く人事体制をとっているのか教えていただきたいです。

委員　　2030年に向けて世界が取り組んでいる持続可能な開発目標略称SDGsに関しまして、滝沢市内の進捗状況、滝沢市内の企業団体個人の理解度について教えていただきたいと思えます。

事務局　滝沢市および教育委員会のSDGsについてまず平成30年度に初めてSDGsセミナーを行いました。国際交流協会、ユネスコ協会にもご協力いただき高校生約20名を含む50人ほどの参加がありました。以降毎年セミナーを企画しております。

現在市で策定を進めている次期総合計画にもSDGsに基づく市政運営を打ち出しています。また、学校におきましてもSDGsに基づいた生徒会活動を行うなど、かなり浸透していると考えられますので、さらに高めていくような仕組みづくりを進めていきたいと思えます。

委員　　セミナーに高校生の参加者が多いとのことですが、小中学生のころから取り組むことも大切だと思います。未来を担う若い方の意識が高くなっているので大変いいことだと思います。

事務局　小学校の児童会ではSDGsに関してどのような展開をなさっているかお話いただけただけですか。

委員 図書室にSDGsコーナーの設置をするほか、児童会の取り組みの一つとして活動している状況です。

委員 「施策2-4 スポーツ共生社会の実現」にある「スポーツを通じた女性活躍の推進」というところで、スポーツだけではないのですが普段から活動していないのは女性のほうが多いのではないのかなと思います。スポーツを通じた女性活躍とはどのようにするのかかなと思いました。例えば、スポーツ推進委員のうち女性が5人しかいことなど数字上から言えば委員の女性を増やしていくことがいろんな意見も出ていいのかなと思いますが、女性の活躍と無理に言わないほうが自然と女性が活躍の場に出てくるのではないかなと思います。

事務局 委員のお話の通り女性のスポーツ推進委員が少ないことなどもあり、取り組みに入れたものです。

委員 柳沢地区においては子どもの数が激減している状況ですが、子どもたちを増やさなくとも、減少を食い止める事ができれば成果があると考えています。地域については70代後半の人が多く、高齢化が進んでいるが、つまり人生経験が豊富な方が多いということで、地域の大切な宝だと考えています。

委員 コロナ禍において地域のお祭りがほぼ開催できず、子どもたちと一般の方々の交流の場所がなくなっています、来年はお祭りをぜひ開催したいと思っております。我々大人はワクチンをほぼ接種していますが、未接種の子どももおり、子どもたちへの感染対策が難しく何もできていない状態にあります。もし来年お祭りを再開する場合子どもたちの参加について各自治会では困っている状況です。

スポーツ推進に関連して、私の地域は農業を生業としており、スポーツよりも仕事に体を使っております。また、手軽に行えるスクワット運動を推奨しております。

委員 コロナ禍において様々な「つながり」が大切だと感じています。学校教育ではコロナで体験が制約されてしまいますが様々な感染対策を講じながら、予定された教育活動を実施している。そういったことで様々な体験を通しての成長があると感じています。社会教育においても事業があって興味を持った子供たちが参加する中でそれぞれ取捨選択しながら成長しているのだなと思います。今年度より始まった教育振興協議会について、予算措置をしていただきながら学校だけで足りない部分を振興協議会が図書室の充実などで自治会の方と連携しながら学校教育を充実させていただけるところが大きな役割だと感じていました。また、ただ力を借りるだけでなく感謝を返せるようにしていくことでお互い良い関係でやっていけるのかなと感じておりました。

委員 令和4年3月8日の文科省の定例記者会見で文科省の末松文科大臣が体験活動を推進していきたいということを発言されました。最近コロナ禍においてネット社会が進歩しており、ネットを活用した教育と実体験を活用した教育の両立が非常に大切なのではないかと思います。本日説明がありました令和4年度の社会教育行政の方針と計画には体験活動が十分に盛り込まれており大変うれしくお話を伺わせていただきました。コロナの現状も踏まえながらこの計画が実施されることを心より希望しております。

委員 盛岡市内一周継走大会では滝沢南中が二年連続優勝して滝沢中が二位になったということで大変うれしく思います。今年の市民体育祭の女子駅伝では7チームしか出ていない状況であり出場者増が課題と考えております。チャグチャグスポーツクラブで開催した陸上クリニックに大石沙也加さんや男子トップ選手が来て子どもたちに指導をしてくれました。この取り組みを2～3年継続されるとのことで非常にいい取り組みだと思っています。これからも広報などで情報を提供して盛り上げていただければなと思います。

議長 柳沢地区の高齢化について、伝統文化を継続できる子どもが少ないこと、地域のお祭りが開催できず地域の子供の楽しみの場がなくなっていること、スポーツ推進においても市民全体でスポーツができる環境が必要ではないかと考えます。子どもとお祭りとスポーツを有機的に結び付けて地道に継続できる活動が大切だと感じました。

事務局 委員さんからお話がありました実体験を子供たちにさせようというのは同じ気持ちであります。滝沢市ではすべての学校で、岩手山交流の家で一泊体験をしてグリーンキャンプを行っており、今後も続けていきその中でいろんな体験をしていただきたいと思います。

委員からお褒めの言葉を頂戴しましたが、以前より滝沢南中学校の男子新体操部が有名であり現在も活躍しておりますが、現在は駅伝競技についても注目されており、子どもたちの活躍は市民の皆さんも喜ばれているかと思います。

SDGsについてのお話ありがとうございました。これについては学校でも取り組みが始まっており、すべての学校で困った人がいたら何らかの手をさしのべるという精神のJRC活動を行っております。このような活動がSDGsという男女平等や環境やエネルギーといったものにつながっていくものと思っております。SDGsの目標には子どもたちができることと社会の仕組みでやらなければいけないことがあります、そのなかで子どもたちができることとしてJRC活動がなっていければいいなと私は考えております。

お祭りについては、今年はチャグチャグ馬コが開催され、さんさ踊りも開催予定です。そのようなことから、お祭りのやり方を工夫し、感染対策を十分に講じていただきながらやっていただきたいと思っております。